

講義名	教育課程論【教職科目】			授業形態	
担当教員	田邊 良祐	開講期・曜日・時限	後期 木曜日 2時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生

### 主題と概要

本授業では、学校教育において、教育活動全体の計画たるカリキュラムや教育課程に関する歴史、理論及び実践に触れながら、教員として最低限必要な知識の獲得、及びその知識を用いたカリキュラム・教育課程の編成ができることを目的とする。  
具体的には以下の目標を達成することを旨とし、その到達度を評価する。

### 到達目標

- 目標1 カリキュラムと教育課程の違いを論理的に説明することができる。
- 目標2 カリキュラムの種類とそれぞれの特徴について説明することができる。
- 目標3 学校教育における学習指導要領や教科書の法的位置付け、教員の実践との関係性について説明することができる。
- 目標4 学習指導要領の変遷を、各年代の学習指導要領の特徴やキーワード等、それぞれの具体的な内容に触れながら説明することができる。
- 目標5 学習指導要領や関係法規、学校の物的・地理的資源を踏まえ学校における「カリキュラム」を編成することができる。

### 提出課題

授業の予習、復習を含め、授業を通した学びの軌跡を可視化するため「eポートフォリオ」を作成する。  
授業毎にeポートフォリオを提出し、その内容は課題として評価の対象とする。

### 課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

eポートフォリオを往還することを通して質問等を受け付け、それに対してコメントする。  
前時の内容に関して授業冒頭小テストを実施するが、答案返却時に解説を行うことで授業内容の定着・到達度の確認と、個々の学生へのフィードバックを行う。

### 評価の基準

- ・ミニテスト 39% (3点 x 13回)
- ・eポートフォリオ 30% (2点 x 15回)
- ・期末試験 31%

### 履修にあたっての注意・助言他

教育課程論が開講される年次以前に開講が設定されている教職科目の内容は、既知のものとして取り扱う。  
授業時間内に情報を含め整理し、グループでまとめ発表するという作業を行うことが多い。その際、PCやタブレット等を用いて行う方が効率が良いと思われるので、スマートフォン以外にPC またはタブレットを持っている学生は持参することを薦める。

### 教科書

・使用しない。（その他要参照）

### 参考文献


### その他

授業の性質上、平成29・30年度告示の学習指導要領は必須とする。  
ただし、授業中、学習指導要領は、必要箇所を採し出す、まとめる、抜き出してまとめたものを基に議論する、といった方法で活用をするので、文部科学省HPからデータで保持、またはリンクを保存しいつでもアクセスできるようにしておくことが望ましい。  
紙媒体で保持したい学生は、個々に購入すること。

### 授業計画

- 第1回：授業ガイダンス、教育課程論の学びの射程と教員の仕事との関連
- 第2回：教育課程とカリキュラム
- 第3回：カリキュラムの種類
- 第4回：教育課程と学習指導要領
- 第5回：「教育課程行政」の基本的理解
- 第6回：教科書と学習指導要領
- 第7回：総合的な学習の時間（総合的な探求の時間）の成果・現状・課題
- 第8回：学校間の接続とカリキュラム
- 第9回：カリキュラム・マネジメントの理解
- 第10回：後期中等教育段階の多様な教育課程
- 第11回：学習指導要領の変遷（戦後復興から「ゆとり」路線）
- 第12回：学習指導要領の変遷（グローバル化と学力観の転換）
- 第13回：教育課程をめぐる今日的動向と課題（教育課程の研究校制度とその実践）
- 第14回：教育課程をめぐる今日的動向と課題（「特別な配慮が必要な生徒」への対応とカリキュラム）
- 第15回：授業のまとめ（授業内容を踏まえた教育課程の編成）  
期末試験

### 授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

### 準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

今回の授業内容に関する準備（関連資料の収集と整理）に2時間程度、eポートフォリオを使用した復習にそれぞれ2時間程度行うことを求める。

### 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

商学部では共通して「マーケティング、ブランド戦略、小売業界、流通に関する問題探索、課題提案ができる」資質能力の育成を目指している。  
高等学校教育科は「ビジネスで必要となる実践的な働く力を身に付ける」ことが目的である。そのような資質能力を生徒に育成する教員となるべく、「問題探索」「課題提案」を随時授業を通して行い、DPで示す資質能力の育成を目指す。

### 双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

授業資料の共有などを、クラウドを通して行うことがある。また、学習指導要領は授業内ではデータで参照する。  
受講学生は、可能な限りスマートフォン、タブレット、ラップトップなどの端末を授業に持参すること。

### 実務経験の有無及び活用


### 備考

本授業は、教員の免許状(高等学校1種免許・商業科)取得のための必修科目である。